

福島ロータリークラブ会報

RI 2015-16 のテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16 RI 会長
K.R. ラビンドラン

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

本日の
プログラム

新会員スピーチ

広栄電設(株)代表取締役 **加藤 裕司** 会員

あいおいニッセイ同和損害保険(株)
福島自動車営業部 **久保田吉朗** 会員

会長あいさつ

第23回会長挨拶

幡 研一 会長



只今は長谷部一雄様の入会有難うございます。須賀川ロータリークラブで20年もの間ロータリー活動をしていた大ベテランで、非常に頼もしく思います。宜しく願い申し上げます。

昨日は「福島駅周辺クリーン大作戦、冬の陣」に福島ロータリークラブから11名で参加してきました。福島駅の周辺は、以前と比べて大変きれいになり、タバコの吸い殻やごみも少なくなりました。福島市の玄関として、非常に喜ばしいことと思えます。駅職員の努力と共に、市民のモラルの向上の賜物と思いました。

本日夕方から20日にかけて台北文湖ロータリークラブの3名が、来年3月の65周年記念式典で来日する際の打ち合わせを兼ねて、福島を訪れます。

突然の来訪の連絡で、時間もなくクラブの例会にも間に合わないで、会長・幹事・国際奉仕委員長等で対応して福島を案内しようと思っております。

本日のプログラムは、広栄電設(株)代表取締役の加藤裕司会員とあいおいニッセイ同和損害保険(株)福島自動車営業部営業課長の久保田吉朗会員の新会員スピーチです。宜しく願い致します。



例会次第

開会点鐘 幡 研一 会長

ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 茂田士郎 会員

お隣の方と〈好意と友情〉の握手
お客様並びに来訪ロータリアン紹介

●新会員入会式

会長挨拶 幡 研一 会長

食 事

幹事報告 箱岩 偉 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当 内池 浩 委員

◎本日のプログラム

閉会点鐘 幡 研一 会長



幹事報告

お知らせ

●次週市内クラブ例会は、ほとんどのクラブが夜間例会に変更しておりますのでメークの際はお問い合わせ願います。

その他のお知らせ

●小型会員名簿を配布致しました。前回お渡ししました名簿を回収致しますので次回例会までご持参下さい。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

●ビジター 呉竹 弘吉 様(福島中央RC)

私のひとこと

松浦 敬裕 会員



サラリーマン生活も終わりに近づき、ドコモ東北でネットワーク部長、福島支店長と組織長と言う仕事を合計9年弱勤め、一貫して言ってきたことが、「部下の育成」でした。意外としんどいのは、本人は楽をしたいのですが、襟を正して部下に接することと失敗しても良いから仕事を任せ考えさせて部下を守ることでした。

いつも言っていることを文章にして配っていますが、その一例を紹介します。

○手段が目的になっていないか?そもその目的は何なのか?

○「あるべき姿」は何か?まずそれを議論し整理してくれ。
○仕事とは、過去のデータと勘を駆使して近未来を予測することでもある。

○権利を主張する前に、義務を先にしろ。

…など、ですが、それなりに育っていると自己満足しています。

本日のプログラム①

新会員スピーチ

広栄電設(株)代表取締役

加藤 裕司 会員



皆様こんにちは。改めまして広栄電設の加藤裕司と申します。宜しく御願ひ致します。本日は、貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。

新会員スピーチという事なので、個人の事、会社の事、趣味などについてお話をさせて頂きたいと思います。

私は、昭和42年12月25日に、福島市の松山町で産れまして、間もなくのクリスマスで48歳になります。産れは、松山町と申しましても本当の生まれは病院になるかと思ひ記憶にはありましたが、本日スピーチをするに当たり、73歳になる母に「生まれた病院は明治病院だよ」と聞いたら急にどうしたんだと聞かれ、今日スピーチをすると言いましたが、わかってくれたかは定かでは有りません。すると、母親から逆に出産後病院で先生から言われた一言が今でも忘れられないと話しだしました。年齢から幡会長のお父様にあたると思いますが、うちの病院はすごく良い病院なんだよ。他の病院は痛い思いをするけど、うちの病院はお土産をもらって帰れるんだからと言って頂いたそうです。そのお土産も50年になりますがお陰様で幸せに生活させて頂いております。今は、母と嫁子供2人で生活しておりますが、子供は、上が娘で高3で千祥といいまして、下が高1の息子で詳磨と言いますが、今思うと2人共名前を福島の稲荷神社にて名前を授けて頂きお陰様で元気に育っております。考えますと、この福島ロータリーにご縁があったんだなあと改めて入会させて頂きありがたく思っております。

自分の事に戻りますが、競馬場前の第三小学校、瀬ノ上の北信中を卒業後は、家業であります電気工事業を目指すべく、福島工業高校電気科、日本大学工学部の電気工学科と、電気一筋で勉強して、卒業後、大手電気工事店の東北支社に4年程修行のため就職し、26歳の時に現在の会社へ戻ってまいりました。今社は、7年前に他界しましたが、父が起業しお陰様で本年で50周年を迎える事ができました。電気工事は基より、消防、通信、太陽光の工事など本社をはじめ、郡山、仙台、最近では相双営業所も開設し、幅広くご愛顧いただいております。

相双営業所は、2年前に南相馬市に建設されました。福島県発注の震災からの復興を担う環境創造センター建設工事を受注し工事のための宿舎施設も満杯状況で無く、建物付の不動産物件を探していた所縁有って、インターネットで「相馬トトロ」と調べて頂くと出て来ますが敷地にある山の上に3mを超える大きなトトロが3体住んでいる物件が有り、建物を見ずにトトロが気に入り購入してしまいました。ちなみにトトロは住んでいた老夫婦のご主人が趣味で作成された物であの宮崎

駿さん公認のトトロで、建物の入口には宮崎さん直筆のサインもありました。全国放送で取り上げられた時は、休日に1日500人の来場があった程だと聞きました。機会がありましたら、是非お立ち寄りください。

完工高的には、県北地域においては、電力など外線工事を抜き内線工事だけで見れば、ほぼ一番という状況であります。今後も復興には欠かせない工事、作業が続きます。全社員一丸となって頑張っていきたいと思っております。

趣味については、やはり、一早く「競馬を楽しむロータリアンの会」に入会させて頂いた通り競馬であります。思えば、生まれは競馬場近くの松山町、小学校は競馬場の目の前の第三小学校であり、通学路では単勝のラッキーナンバー馬券を落ちていながら探しながら通学し、学校の授業で絵を書く時には競馬場へ行き馬の絵を書き、遊んでいる時などは今まであまり考えられませんが信夫山の麓のサイクリング道路を馬が散歩をしていて後をついて行ったり騎乗の方に話しをして頂いたりしていた記憶があります。そんな中、会議所の活動をしていた時に福大の行政社会学部の教授にご指導いただき、馬とふれあう街作りなども勉強させて頂き、海外においてはドイツなど馬専用道路があり馬と常にふれあっていると聞いたりしました。

最近、競馬も好きだが馬自体もかわいくて好きになって来て、今年も北海道へ何度か足を運びました。その中で、社台グループさんの主牡馬の牧場を最近見学をして来ました。ディープインパクトを初め、往年の活躍馬が沢山主牡馬生活を送っていました。その中でも一際目立っていたのがオルフェーブルです。私も不用意に近づき頭を撫でようとしたら、思いっきりかまれそうになり注意をされました。気性は相変わらずでした。そのオルフェーブルの馬房を見ると一頭だけ外と自由に出入りできる作りになっており、世話係りの方もあまりに言う事を聞かないので、自由にさせているとの事でした。ただその隣で、自由に外を駆け回るオルフェーブルを裏目しそうに見ていた馬がやけに可愛く見えたのが印象的でした。係の方に聞くと、やはり次に言う事を聞かないのが兄のドリームジャーニーだと聞き笑いました。また、有名なキングカメハメハは真面目すぎて種付けが少ない事など裏話も聞けました。やはり、血なんだなあと、何事も頑張り過ぎないという事を勉強して参りました。

本日のプログラム②

新会員スピーチ

あいおいニッセイ同和損害保険(株)
福島自動車営業部

久保田吉朗 会員



1986年4月、私は千代田火災と言う損害保険会社に入社しました。当時の千代田火災は国内20数社の損害保険会社がある中で業界中位の会社でありました。私がこの会社に魅力を感じ

たのは、トヨタ自動車が大株主でありつながりの深い会社であることでした。その後、国内損保は再編の嵐の中、当社は二度の合併を経て業界最長の18文字のあいおいニッセイ同和損害保険株式会社となり、現在に至っております。

私の志望動機に縁あってか、入社以来その大半をトヨタ自動車の販売店であるトヨタディーラーの担当課で過ごして参りました。私は来年で勤続30年となりますが、9台の新車を購入しました。来春には代替が控えているので1台あたり3年つまり、車検毎に車を買った計算になります。これは仕事上のお付き合いもありましたが、振り返れば一つには私の車好きがあったのも事実でした。現在の若者は車に興味がない、車離れが進んでいるとも言われていますが、私は車にはこだわりがあり、自分の本当に好きな車を乗りついで来た気がします。

最初に乗った車はカーリーナED。この車はセンターピラーレス4ドアハードトップでエキサイティングドレッシーの名の通り、スタイリッシュな車であり私のハートをがっちり射止めました。このカーリーナEDはその後私の4台目の車として登場することになります。

若い時代は、運転時先頭にいなければ気がすまず、常に前へ前へと出ることだけを考え、そのことが家族にも不評でした。よく喧嘩にもなり、ハンドルを握ると人が変わるタイプでもありました。

東京を経て長野県で3台目の新車チェイサーを購入しました。このチェイサーも当時マークII・クレストと並ぶ3兄弟と呼ばれた人気モデルでした。ところが、この車で初めて正面衝突と言うショッキングな事故を経験しました。妻とスキー場へ向かう際の登りカーブで対向車がセンターラインを越えて入ってきたのが原因です。高齢の相手方は地元では有名な事故常習者らしく、私もまさかこちらの車線にそのまま走っているととは驚いている間の出来事でした。その際、残念だったのはセンターラインオーバーだから相手方が100%悪いのですが、スキー場で待っていた会社の同僚からは、私が無理な追い越しをして対向車と衝突したのではないかと思われていたことです。それだけ、当時の運転が乱暴だったと見られていたのでしょう。幸い目撃者も大勢いたので私の無実は明らかでしたが、同僚からもそんな見方をされていたのですから、不謹慎な言い方をすれば相手が助かってくれてよかったとつくづく思いました。

その後、5台目でチェイサーの2500ccを買いました。2500ccはアイドリング時の静かさ、胸のすく加速感、私の中ではこの車はそれまでで最高の満足を与えてくれました。ただ、この車も長くは乗れませんでした。

数年後、北海道に異動になり、このお気に入りの1台を泣く泣く手離すことになったからです。北海道でも極寒の地である北見ではフロントエンジンリヤドライブであるFR車は冬場凍結路でお尻を振るし、坂道は登らなくなるし、家の前でもスタックして近所の人に

助けて貰うこともあるほどでした。止む無く三度チェイサーの4WDに乗り換えたのでした。家族はオートキャンプも盛んな北海道だからRV車が欲しいと言ったのですが、私の物差しは変わりませんでした。長女の幼稚園仲間とのドライブ旅行も懇意にしていた4家族の中、唯一私だけがセダンでした。この車で広大な北海道の函館地区を除くほとんどの地区を駆け巡りました。しかし、雪の止んだある日の朝、スキー場に向かう国道で突然のスリップ、スピンにより大破してしまいました。この日の朝、家族にはスキーに行く提案を嫌な予感がすると反対され、単独で出かけた挙句の事故で、自業自得だったわけです。その結果、代替する羽目になり、30代後半は転勤に加え、事故も絡み代替に拍車をかけた形になりました。

新潟へ異動となり、8台目の購入を検討する時期になりました。この時検討したのが、マークXとプリウスでした。今までの走りのこだわりから言えばマークXだったでしょうが、私はプリウスにも非常に興味がありました。2代目のプリウスではあの独特なスタイルに当時は少々違和感があったのも事実です。しかし、このプリウスとの出会いが私の運転を大きく変えてくれました。

プリウスの魅力は圧倒的な燃費、今日のハイブリッドの先駆けとなった車です。それまでスピードに走った気持ち、燃費計に目が行くとそれが心のプレーキに。その甲斐あってか、以来忌まわしい事故とも無縁になりました。条件にもよりますが郊外の平均燃費は30キロ近くにならないと気が済まず、山道も登りは努めてゆっくり、下りは回生ブレーキも効かせながら燃費の貯金。かつての荒い運転は影をひそめ、登坂車線で他の車をやり過ごすことも抵抗なくなりました。燃費へのこだわりはエコ・安全につながるわけです。

現在の愛車である3代目プリウスはモデルチェンジ時に迷わず注文。6年間乗り続けたのは最長記録ともなりました。もう他の車には興味がほとんどなくなりました。ゴルフバッグの積み込みなど多少難はありますが、いつまでも乗り続けたいと思えるモデルでした。

そんな中、私の10台目になる新型プリウスが先日発売されました。ハイブリッドのバイオニアであるプリウスは今回で4代目になりますが、トヨタはあえてゼロから作り直しました。かつての“ゼロクラウン”に通じる変貌ぶりです。プリウスのDNAである環境性能の更なる飛躍、クルマを骨格から見直すことで生まれたTNGA (Toyota New Global Architecture) による走りの楽しさとかっこよさ。低燃費と低重心、進化と変化を同時に叶えるために、いくつもの不可能を乗り越えて生まれた“PRIUS! IMPOSSIBLE”。さらに4つの先進安全機能を備えた衝突支援回避支援パッケージToyota Safety Sense Pで安全対策もトップクラス。

昨年7月にトヨタのハイブリッド累計販売台数が世界で800万台を超え、実にその半数近くの352万台がプリウスなのです。もちろん販売期間の長さもあり、

先代のプリウスもハイブリッド車で初のベストセラーになる等、多くの皆様に愛されて来ました。しかし、今後は単なるハイブリッドだけではユーザーの選択肢が増える中で、埋没しかねない危機感もあってのゼロからスタートする戦略であったと思われます。

すっかり、CMのようになってしまいましたが、私は三度この車を選んだことに確信と誇りを持っています。

少々話は脱線しますが、事故と言えはかつては若者の運転技術の未熟さや無謀運転が重大事故につながるケースが多く、それゆえ若年層ほど保険料が高い仕組みとなっています。しかし、近年は若年層の車離れもあり事故の頻度も相対的に減少した反面、高齢者の事故の増加に伴い年齢別の保険料区分が導入された結果、保険料も大幅に値上げになっています。高速道路の逆走やアクセル・ブレーキの踏み間違いによる事故も後を絶ちません。

保険会社のサービスは万一の事故が発生した際に、保険金をお支払いすることでお客様や被害者の方の経済的損失の補償をすることです。一方、事故の未然防止と言うテーマで自動車メーカーは衝突安全対策や、自動運転に向けしのぎを削っております。現在ではエアバッグや安全ボディなどの進歩で、重大事故にもかかわらず、運転者は軽傷で済むことも少なくありません。これは事故発生時の損害を抑制するものですが、事故そのものを回避することに焦点は移っているものと思われれます。人は必ずミスを犯します。それをいかに車の技術で事故につながらなくするか、高齢者の事故防止の観点からも、衝突防止システムの標準装備などの対策が望まれます。

またCOP21で各国がCO₂削減を協議しました。従来は先進国対発展途上国の利害の対立と言う構図でしたが、今回採択されたパリ協定は法的な拘束力を持つ枠組みで、気温上昇を産業革命前に比べて1.5度に抑えるよう努力するとし、世界全体の温室効果ガスの排出量をできるだけ早く減少に転じさせて、今世紀後半には実質的にゼロにするよう削減に取り組むとしています。発展

途上国を含むすべての国が協調して温室効果ガスの削減に取り組む初めての枠組みであり、世界の温暖化対策は歴史的な転換点を迎えたと言われています。

COP21を前にトヨタ自動車は2050年には地球温暖化につながるCO₂削減のためガソリン車の新車販売をほぼゼロにする構想を発表しています。私自身35年後は生きているかどうか定かではありませんが、水素で走る燃料電池車を開発した流れからはうなずける話かもしれません。これぞパリ協定を具現化する構想です。当面はハイブリッドを主流とする戦略で、世界販売で2020年までに現在の累計販売800万台超を1,500万台までにはほぼ倍増する方針のようです。

自動車の性能が向上した結果、速く走ることは誰にも可能です。しかし、そのことは事故の危険度が増加するとともに環境面ではマイナスにもなります。私の実家の近くには最新鋭の新幹線を製造する工場があり、数年前小学生以来の工場見学をする機会に恵まれたのですが、モーターの性能からは新幹線の速度アップはまだ可能と言われました。日本の新幹線の最高速度は東北新幹線の320キロになっていますが、これは騒音対策などの環境面を考慮した数値と言われている。

「安全は出せるスピード出さない勇気」と言う標語がありました。私は新型プリウスでスピードよりも燃費で他車を圧倒し、安全や環境に貢献したいと思います。早ければ2か月後には納車になる見込で、今からそのハンドルを握る日が待ち遠しいです。これからも世界のトップである日本の自動車技術が車と人の素晴らしい未来を創ることを祈りつつ、自らのカーライフをより充実したものにしていきたいと願っております。

新会員入会式

元須賀川信用金庫理事長
元須賀川商工会議所会頭
(日銀OB)

はせべかずお
長谷部一雄様
(紹介…丹羽和也 会員)



ニコニコBOX報告 (報告)内池 浩 委員

本日のニコニコBOX投入額 26件 ¥58,000 累計 ¥1,287,000

幡 研一 会長

長谷部一雄様の入会を歓迎して。加藤裕司会員、久保田吉朗会員のスピーチを楽しみにしております。

箱岩 偉 幹事

皆様の例会出席に感謝して。長谷部一雄様のご入会を歓迎致します。文湖RC王会長、方国際奉仕委員長の来福を歓迎致します。加藤裕司、久保田吉朗両会員のスピーチを楽しみにしております

長谷部 一雄 新会員

本日から福島ロータリークラブにお世話になることとなりました。宜しくお願ひ致します。

加藤 裕司 会員、久保田 吉朗 会員

本日新会員スピーチをさせて頂きます。宜しくお願ひ致します。

小原 敏 会員

年忘れ家族会に本校IAC及びアフリカの留学生までお招きいただきありがとうございます。

松浦 敬裕 会員

12月19日(土)に娘の結婚式です。既に家を出ているのですが、息子も家を出て広い家に家内と2人でいると、子供部屋まで作って家を買ったのですが、少々寂しい気がします。

他に／加藤義朋会員／増子 勉会員／坪井大雄会員／安藤健次郎会員／藤井高志会員／田沼紀美子会員／三浦康伸会員／佐藤英典会員／古俣 猛会員／牧野吉晃会員／霧丸直久会員／白岩康夫会員／野原邦亮会員／井上賢司会員／茂田士郎会員／三木エリカ会員／佐藤朋幸会員／三宅 喬会員